

ワインド実釣講習会に30人参加

タチウオ続々ヒット

兵庫・神戸沖堤

「止め」実践奏功

ワインド実釣講習会

(協力・オンスタックル)

を2日、兵庫・神戸沖堤

(第8防波堤)で開催し

た。

ワインドとは、専用の

ジグヘッドとワームでタ

チウオを狙う、人気のル

アーフィッシング。この

日は大型釣具店「イチバ

ン・エイトグループ」各店

のお客さま、約30人が参

加した。

に揺られて午後2時半、8防へ到着。記念撮影の後で2班に分かれ、まずは座学から開始した。

ワインドの第一人者、小林さんはビギナーに基礎をレクチャー。オンス

タックルのスタップである浦さんは、ベテランに

スタップアップを指南した。

午後4時頃に実釣開始。経験者の私は、小林さんから上級者向けのテク

ニックを教えてもらった。ワインドの釣り方も

毎年、進歩している。今回は2016年バージョン

の攻め方を教わった。ポ

イントは「止める」こと

だ。

この日は大潮。潮が速いのでジグヘッドは8/5寸(約17センチ)を選択した。キャストして、いったんボトムを取ってから一

定のリズムでシャクる。ある程度シャクった後に

ピタリと止める。止めることで食わせの間を与える

ると、活性の低いタチウオも口を使うのだ。

しかし、ただ止めるだけではヘッドが真下にフ

ォールするので、バイトがあっても乗りにくい。

重要なのが、テンションを張った状態でフ

ォール

スピードに合わせてロッドを倒していくことだ。ヘッドを常に水平に保つ

ことができ、確実にバイトをものにする。潮が速い上、雨の影響

▼▼ ワインド実釣講習会に初心者から上級者まで約30人が参加。盛況だった



▲▲ ワインドでタチウオを仕留めた撰梅さん

で濁りが入っている悪条件。バイトはあるが、なかなかヒットにいたらなかった。そこで、覚えての「止め」を実践した瞬間、ドンと来てタチウオをゲット。その後もゆっくりリールを巻くスローな釣りで3尾追加した。ほかの参加者もレクチャーの成果で好釣果を上げていた。

神戸沖堤のタチウオは、まだまだ釣れ続く見通し。来年1月頃までがシーズンだろう。ファン

の皆さまにワインドの釣りをぜひ、楽しんでいただきたい。

詳しくは、イチバン・エイトグループ各店舗のスタップにお問い合わせを。(フィッシングエイト3ルアー担当スタップ撰梅 知克)

18日 伊ハチ 5ポ